

# 復興へ向けて

One for All, All for One

中同協東日本大震災復興  
対策本部ニュース No.2

発行日：2011年3月25日

発行：中小企業家同友会全国協議会(中同協)

## 連帯の力で大震災復興の支援を

中小企業家同友会全国協議会 会長 鋤柄修

このたびの東日本大震災で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。ニュースなどで伝えられる被害状況は、想像を絶するものです。今こそ日本全体が心をつにして、この困難を乗り切る時だと思えます。

原発事故は、近隣の農産物などにも影響を与えており、風評被害も心配されます。政府には、地域の方々が一瞬も早く安心して暮らせるように、的確な情報を提供するとともに、早目に対策をうつことを望むものです。

今後も全国から可能な限り支援を行っていきますが、何といても被災を受けた同友会の皆さんが力を合わせて立ち上がることが、復興に向けての最大の力になると思えます。ぜひ同友会の連帯の精神を発揮して、お互いに励まし合いながら、それぞれの地域で災害から立ち上がる大きな力になっていただきたいと思えます。

復興は、期間的にはかなり長期になると思われまます。粘り強く、継続して復興や、支援活動に取り組んでいきましょう。

\*全文はDOYUNETをご覧ください

## 76%が経営に影響あり

被災地外7同友会1097社  
東日本大震災の影響は、直接被災した地域以外にも出始めています。23日現在、7同友会で1097社から回答がありました。長野(116社)、京都(158)、大阪(187)、和歌山(15)、香川(71)、高知(25)、福岡(525)。

中間集計で震災の「影響がある」とした企業は42%で、「今後影響がある」34%と併せて76%にのぼっています。影響がある内容は、「被災地に取引先あり、部品や資材等の調達困難」74%、「物資不足」69%、「交通困難による売り上げ減、コスト増」50%(複数回答)などの順となっています。

\*詳細はDOYUNETで

## 義援金

3月25日現在  
43,740,913円

\*中同協に振り込まれている額

## 支援物資 3月23日現在

米	7トン
水ペットボトル	6500本
インスタント食品等	7800食
缶詰	1900個
カセットコンロ300台、ボンベ	800本
衣類・靴	6万点
毛布	3000枚
マスク	50万枚
トイレットペーパー	7300巻
懐中電灯	250本
ポリタンク・缶	750個
カイロ	16000枚
自転車	40台 など

## 民主党へ要望提言【中同協】

中同協は3月23日、参議院議員会館で行われた「民主党中小企業政策推進議員連盟」緊急総会に出席し、東日本大震災の被災状況と復興に向けた同友会の活動を紹介し、早急に取り組むべき要望・提言を行いました。

\*詳細はDOYUNET「東日本大震災情報」の「中同協の取り組み」をご覧ください

## 企業存続に向け全力尽くそう

### 被災地から【福島】

原発事故の影響が広がる中、福島同友会では3月17日に県知事あてに燃料の確保や休業補償、決済猶予措置など4項目にわたる緊急要望を提出。22日には情勢認識と全会員への行動提起の視点で理事長声明「苦境に負けず、今こそ中小企業家魂を発揮し、企業存続にむけ全力を尽くしましょう」を県下全会員に送信。緊迫した情勢下で、経営者の判断、決断が揺れる中、会員を大いに励ますものとなっています。

23日には理事長、専務、事務局次長が相双地区の被災企業を訪問。事務局長と阿部事務局員がいわき事務所の復旧を行い、復興に向け奮闘しています。

### 以下は、「理事長声明」(一部抜粋)

今すぐ、次の3つの課題に取りかかりましょう。自社の置かれた現状を分析し、今後の方針を定め、それを具体化に移していく経営者力が試されています。同友会会員相互の情報や知恵を活用しあいながら、現状の経営危機を突破していきましょう。

緊急に取り組むべき3つの経営課題 (1)社員の安否確認を進めながら、経営者としての社員への力強いメッセージを伝えましょう。給料など、社員の生活と将来への不安を無くすように努めましょう。(2)お客様や取引先へ正確な情報提供をし、風評被害を避けましょう。復興への強い経営意欲を発信し、復興に向けた相互協力支援、信頼関係の確立をはかるよう努力しましょう。(3)そして、当面の営業ができないことを前提とした資金の確保を最優先で行いましょう。 \*詳細はDOYUNETで